

高田 本山 だより

重要文化財十三棟

守り伝える高田本山です

109



お参りしていますか？

報恩講

お七夜

2017



一月九日から十六日にかけて今年も報恩講（お七夜）が無事に厳修されました。あいにくの大雪の影響もあり後半の参詣者が少なかつたように思えます。ただ、前半は例年よりも賑やかな人出があったのではないでしうか。お七夜さんにお出かけいただいた皆様、足元の悪い中、ようこそのお参りでした。



今年は「報恩講のしおり」というガイドブックを配布して、参詣の一助となるようにいたしました。が、いかがだったでしょうか。

報恩講期間中は、一日に四度のおつとめがありました。また、いろいろな法座や行事もありました。



十五日の夜には初夜参詣。翌日から坊守会参詣、婦人連合会、責任役員会や特別講演などがありました。

初日の九日には新成人のつどいがあり、テレビ局から取材もきていました。第四面に参加者から寄稿いただきましたのでごらんください。



また、献書展や生花展なども例年通り開催されていきました。詣や通夜念仏があり、深夜まで境内が賑わいました。

Web version



除夜の鐘

■ 十二月三十一日
除夜の鐘 どなたでも
本山の鐘をついていただ
ける唯一の日で、百八と

■ 十二月二十八日
おすす 親鸞聖人像を
法主殿直々にお身拭いを
して、一年の埃をはら
い、新年の準備をいたし
ます。



おすす

■ 二月一日
年賀式 本山を支える
大勢の講社の皆さんと新
年のご挨拶をする、一年
の節目となる伝統の行事
です。

た。アクシデントもあり
ましたが、不十分な箇所
を発見しましたので、こ
の訓練も大事です。

こんな行事がありました

■ 一月二十四日
防火訓練 二十六日の
文化財防火デーを前に本
山でも訓練が行われまし

■ 一月九日から十六日
報恩講（お七夜）
この夜は、大勢の人が並
んで順番を待ちます。

いう数ではなく時間を区
切って鳴らしています。

■ 二月十六日
名古屋別院報恩講 本
山の報恩講とは時期をず
らして、各別院でも報恩
講がつとまります。

なたでも聴講することが
できる講座も定期的に開
催されています。

■ 二月十五日
真宗入門講座 一般の
方にもわかりやすく、ど

■ 二月七日
布教伝道研修講座 高
田派の僧侶向けの講座も
開催されています。皆さ
まに、仏法をつたえるた
めに日々研鑽を積んでい
ます。



涅槃会

■ 三月十五日
涅槃会 お釈迦さまが
涅槃に入られた日に、如
来堂に大涅槃図が掲げら
れおつとめがおこなわれ
ます。併せて、涅槃図の
解説も行われています。

のお寺の住職にこれから
なる人たちの研修も行わ
れています。



布教伝道研修講座

Web version

Web version

第二の誕生日

上田綾香 (津市福専寺)

二十歳の誕生日に両親から「一月の本山成人式に参加したら!」と言われており、迷っていました。たがついにその日を迎える私は、本山の新成人のつどいに参加することになりました。

その時、父から「一緒に帰敬式ききようしきが受けられるよ、なかなかないご縁だから」と言われましたが最初は何のことだかわかりませんでした。しかし受式をすることで「法名」が授与されると聞き、その法名に興味を持ち受けてみることにしました。ですが、式自体は自分の中ではさほどたいしたことではないと思って、気にしていませんでした。



当日の受付も終え私は特に緊張することもなく、その時は過ぎていきました。新成人のつどいに集まったのは私を含む四人で、その中で帰敬式を受けるのは私だけでした。

お七夜報恩講がつとまる御影堂で新成人だけが

焼香させていただきお勤

めが終わると同時に中陣に正座して帰敬式を待ちました。そこに御法主様が近づかれ、今までになかった緊張感が私を襲いました。手順を間違えないか、髪が無くならないか、様々な感情が錯綜し、まるで奈落の奥底に落とされた感覚で、はつと目が覚め我に返ったときには特に変わったことなくおかみそりが終わっていました。長いようであつという間の時間でしたが法名をいただき、帰敬式が終了したときには、手が汗でびっしょりでした。

そのあと新成人のつどいで御法主様から次のようなお言葉をいただきました。

この世に生を受けたことを「第一の誕生」。仏様の世界、お浄土へ行くことを「第三の誕生」。そして自覚のないままに自分本位に歩んできた、自分中心の人生が迷いであつたことに目覚め、佛・法・僧の三宝をよりどころとして、確信に満ちたこの喜ばしい人生を人々とともに歩む身となり、新たに生まれ変わったということを「第二の誕生」と申されました。

私の中には
今までなかつたこのお言葉

を頂いたとき、私は今まさに成人式と帰敬式こそが「第二の誕生日」を迎えたのだと思いました。

法名をいただき仏弟子の一人とならせていただいた今、この世に生まれてきたことの喜びを自分自身がしっかり受けとめ、第二の誕生日に相應しいスタートが出来るように、これから様々なことに挑戦していこうと心に誓いました。



親鸞聖人ご旧跡を訪ねて

第三回 比叡山下

得度をされて比叡山で修行の日々をおくられた親鸞聖人。

ある時、六角堂に百日参籠されることになりました。その通った道といわれるのが修学院離宮横を抜けるきらら坂のルートです。

坂の下、これから山道になるところに記念碑がたてられています。この地にあった雲母寺不動堂で出逢った女性に

女人往生を考えるきっかけをいただいたという伝承も残っています。

雲母寺は現在廃寺となっており、赤山禅院にその不動さんがうつされたといわれています。

また、付近には北山別院があります。ルート的には少しきらら坂からは外れてしまう気がするのですが、比叡山に上る前に一年ほど修行のため逗留されていたことで、立ち寄られていたのかもかもしれません。

聖人が参籠の道中はこの聖水でのどを潤して

六角堂に通ったという場所になります。

きらら坂の碑・赤山禅院は、どちらも京都市バス修学院下バス停から東に徒歩十五分～二十分程度です。

北山別院は一乗寺下り松町バス停から十分ほどの場所になります。

(山川蓮生)



きらら坂



赤山禅院



汗を流して清掃奉仕

ご奉仕ありがとうございます。(敬称略・奉仕順)

十二月 唯信寺・西方寺

一月・二月 お休みでした

親鸞聖人のもとで汗を流しませんか。ひとりひとりの力が合わさり本山が護持されています。お寺さまだけはなく一般の団体の方にもご来山いただいております。お申し込み、お問い合わせは宗務院庶務部までお願いします。



3・11 東北を忘れない

三月十一日を前に、未だに復興に向けて歩み続ける東北に研修でお邪魔します。

Web version

Web version

「やとり」降魔成道

釈尊シリーズ ⑥

インド北東部、尼連
 禅河の畔、ガヤーの地
 の一本の大樹のもとで、
 ゴータマ・シッダールタ
 (釈尊)は、さとりを開
 く確かな決意をもって深
 く瞑想に入られました。
 しかしその時、いかなる
 手を尽くしても修行を完
 成させまいと、天魔と配
 下の悪魔たちが押し寄せ
 てきたのです。

手始めに、天魔は三人
 の娘を遣わして釈尊の心
 を乱そうとしましたが、
 釈尊がこれに屈すること
 はなく、時には悪魔の大
 群に襲わされて恐怖心で潰
 そうとしましたが、なぜ
 か近付くことが出来ませ
 ん。
 「悪魔」とは、自己の

内より湧き出して自分自
 身を振り回す「迷い」そ
 のものであり、様々に姿
 を変え、次々に手段を
 替えてこの私を惑わし
 ます。この「欲望」や
 「嫌悪」「飢渴」「妄執」
 「怠惰」「恐怖」「疑惑」
 「強情」といった心の弱
 さが、苦悩を超える道を
 求める釈尊にもまた、あ
 らわれたのでした。

しかし六年もの間、出
 家者として過酷な修行を
 おさめ、尚もそれらに執
 われず偏らず、今ここに
 独り智慧の眼を開きつ
 つ、自己と世間をつぶさ
 に見つめ、厳しくも静か
 に瞑想する釈尊が、もは
 や動ずることはありません。
 ん。



尊が積んでこら
 れた計り知れな
 い功德を証明し
 ます。これに恐
 れを成した天魔
 はついに降参し、
 逃げ去るのでし
 た(降魔)。

こうして安静
 を得られた釈尊
 は、明けの明星
 の輝くとき、大

いなる瞬間「成道」を迎
 え、さと(菩提)を得
 られ、目覚めたもの
 「佛陀」となりました。
 時に釈尊三十五歳、
 十二月八日の自覚であり
 ました。

これにより現在、この
 聖地ガヤーを「ブッダガ
 ヤ」と称し、その大樹は
 「菩提樹」と呼ばれ、讃
 えられています。

最後には、天魔自ら襲
 いかかるも、釈尊の右手
 がそっと大地に触れる
 と、大地が鳴動して釈

教学院第三部会

Web version

リレー法話

いのち

唯念寺副住職

若櫻木 典孝

このたび「いのち」というテーマを頂戴して、昨年の春に亡くなった祖母のことが思い出されました。

祖父の死後、坊守である母の実家で一人暮らしをしていた祖母は、九十一歳で生涯を終える最後の十年間を唯念寺で過ごしました。母にとって祖母が往生するまでの数年間は一日も欠かすことの出来ない介護の毎日でした。

やがて徐々に祖母の体力が落ちていき、そう遠くないうちに祖母の「いのち」が終わることが現実として目の当たりに迫ってきました。

祖母をここで看取るため、そ

の覚悟を決めるために、母は介護や看取りに関連する本を読んでは答えを探し続けました。このことは、私には実の母との別れる、その気持ちを整理するためのようにも映りました。そして、祖母はなくなりました。

祖母が亡くなってから一年が過ぎようとしています、折あるごとに介護中のことを思い出してか、「あの時のことは、こういう風に納得できるね」と今でも自問自答が続いているようです。母にはきつと様々な問いがあるのだと思います。祖母は介護生活が辛くなかっただろうか？不自由なく暮らせたのだろうか？そして、「自分」は精一杯（介護を）やりきれただろうか？（ちなみにわたしはどうしてもっと面倒を見てやれなかったのだろうと後悔ばかりです…）

大切な人の「いのち」と真剣に向き合うとき、悲しみや喜び

と共に、問いが生まれてくるのだと思います。そして多くの場合は苦悩を伴うのではないでしょう。

しかし亡くなった方が答えを返すことはありません。ふと答えが見つかったと思っても、少し時間が経てばすぐに別の問いが生まれてきます。真実はわたしたちには分かるべくもないのです。

そのように右往左往して生きているわたしたちと一緒に悩み、どこまでも寄り添ってくださるのが阿弥陀さまでです。一つ



一つの問いに対して直接的な答えを下さるわけではありません。わたしたちの心を覆っている悲しみや苦しみの霧が晴れるわけではありません。しかし、わたしたちひとりひとりの「いのち」を阿弥陀さまは願って下さっています。阿弥陀さまに支えられて、問いを苦悩を抱えながらも歩んでいくちからをいただけるように感じます。

※写真：祖母が唯念寺で暮らす間に生まれたひ孫たち。祖母の癒しになりました。

高田山 蓮の会




年会費 5,000円

特典① オーナ―特典
お好きな蓮をお育てください

特典② 国指定重要文化財での
「お抹茶の会」ご招待

特典③ 蓮の結実方・育て方講習会

特典④ お育て頂いた蓮の株をお分け
します

専ら自然の恵み
熟成はちみつ お花山

非加熱だから
生きています

熱を加えず、静かに熟成する
「お花山」は、1年と長い時間
をかけることで、ゆわくお花山
を堪能するお花山。色も
濃くなり、どんなお花山のよう
な味わいをお楽しみください。



（お花山 3kg） 600円

聖なる茶葉の恵み
高田本山謹製伊勢銘茶

懐かしい風情あり
桐風 1kg 600円

洗練された本格派
賜春 1kg 1,200円

賜春・桐風
ギフトセット
3kg 3,000円

ご縁をつなぐ高田本山専修寺のお土産

夢告

特別拝観限定「蓮」会席料理

清らかなる蓮の花は重要文化財
心と体を浄化する
全身全霊のおもてなし



国指定重要文化財「御対面所（おたいめんしよ）」にて、蓮寺・高田本山のテーマである「蓮」をメインに、会席料理「夢告（むこく）」で、参拝者の方々をおもてなしさせていただきます。また「御対面所」だけではなく、重要文化財へ特別に参詣していただきます。「夢告」とは、観音聖人が観音さまからいただいた夢のお告げのこと。特別拝観を通じて、心と体が生まれ変わる、美味なる教智をいただきましょう。





特別拝観限定「蓮」会席料理 夢告 一むこく 25,000円
国指定重要文化財・御対面所での会席料理・特別拝観料・お抹茶のおもてなしが含まれています。
※詳しくは高田本山宗務院広報課までお気軽にお訪ねください

● 行事案内

三月二十五日～四月九日

写生大会

四月六日～十一日

千部法会

九日～十日

・ 十万人講法会

十一日

・ 戦没者追弔法会

四月二十三日

はなまつり

四月二十九日

興学布教研究大会

五月六日～八日

第二十三世堯祺上人

五月二十一日

親鸞聖人降誕会

六月四日

第53回高田派婦人連合大会

寺院名

高田本山
Senjuji

三重県津市一身田町
2819
真宗高田派本山専修寺



暖かさが戻り始めるこの時期、本山境内では蓮の植え替え作業がおこなわれています。

でいちゅうしょうがくげ
泥中生仏正覚華の言葉そのままに、今年も綺麗な蓮の花で満開の境内になるといいですね。